

スーパーリスニング (児のそら寝)

今は昔、比叡の山に児ありけり。
う変用

僧たち、宵のつれづれに、「いざ、かいもちひせむ。」と言ひけるを、

この児、心よせに聞きけり。

さりとして、し出ださむを待ちて寝ざらむも、
△ク用 なるかりなむと思ひて、

片方に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、

すでにし出だしたるさまにて、ひしめき合ひたり。

この児、さだめておどろかさむずらむと、待ちゐたるに、

僧の、「もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、

うれしとは思へども、ただ一度にいらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて、

いま一声呼ばれていらへむと、念じて寝たるほどに、

「や、な起こしたてまつりそ。をさなき人は、寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、

あな、わびしと思ひて、いま一度起こせかしと、

思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ふ音のしければ、

ずちなくて、無期ののちに、「えい。」といらへたりければ、

僧たち笑ふこと限りなし。

記入例

